



うぶやま牧場



～阿蘇の大自然を駆け巡ろう!!～
第16回 大草原のうさぎ追いinうぶやま
産出村うさぎ追い実行委員会

雨にも負けず、寒さにも負けず!

「第16回大草原のうさぎ追いinうぶやま」

2月2日(土)うぶやま牧場周辺の原野において、本村の恒例イベントとなっている「第16回大草原のうさぎ追いinうぶやま」が開催されました。当日は、濃霧に小雨…という悪天候にも関わらず、県内外から多くの参加者がうぶやま牧場に集結し、阿蘇の冬の風物詩「うさぎ追い」を楽しみました。

そして、今年は3年ぶりにうさぎを捕獲することができ、参加者たちも大喜びでした!子どもたちも初めて見る野生のうさぎに興奮気味で、昼食会場は終始笑顔に包まれていました。

3月

No.523
2013(平成25年)

平成25年度 スポーツ安全保険の半額補助について

平成25年度より、体育協会から村民の皆様方がスポーツをこれまで以上に楽しんでいただけるために、スポーツ安全保険掛金の半額を補助します。

受付期間 平成25年3月1日から平成26年3月27日まで

加入できる団体 スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・地域活動を行なう5名以上の団体の方々が入会できます。

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行なう5名以上の方々でご加入下さい。加入者ごとに加入区分をご選択下さい。(なお、振込み手数料(210円)は、団体でご負担をお願いします。)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	団体負担分 年間掛金 (一人当たり)	体協負担分 (一人当たり)	一年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死 葬祭費用保険 支払限度額
						死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下	スポーツ活動 文化活動・ボランティ ア活動・地域活動	A1	400円	400円	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償合算 1事故5億円 ただし、身体賠償は 1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
大人	高校生以上 スポーツ活動 スポーツ活動の指導・ 審判	C	925円	925円	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償合算 1事故5億円 ただし、身体賠償は 1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	※65歳以上 の方も加入 できます。 子どものスポーツ活動 の指導・審判	AC	650円	650円	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上	スポーツ活動	B	500円	500円	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	

事故の時は!

※事故後、できるだけ速やかに事務局までご報告をお願いします。
※団体活動から外れての個人練習などは保険対象になりませんので、ご注意ください。

加入申し込み先 産山村体育協会(産山村教育委員会内) 電話:25-2214

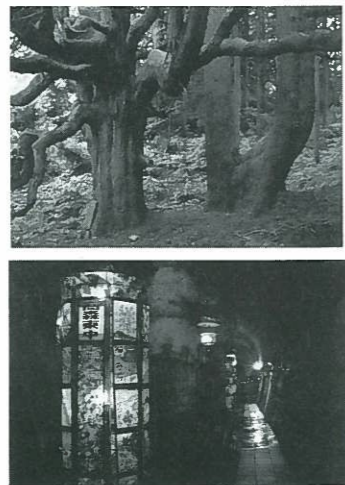
阿蘇世界文化遺産リレーコラム ~わがまち自慢の世界遺産~

阿蘇世界文化遺産リレーコラム第6回は、高森町から「高森殿の杉」と「湧水トンネル公園」についてのご紹介です。

コラム第6回 「高森殿の杉」と「湧水トンネル公園」 担当:高森町

○高森殿の杉

清栄山麓、黒岩峠に通ずる右下方に、樹齢300年以上もあろうと思われる大杉が2本あります。周囲6人で囲む位の太さで、1本は地上1mくらいから三又に分かれています。人々はこれを高森殿の杉と呼び、高森城主高森伊代守直及び近侍三森兵庫守能因の自刃の地と伝えています。もともとここに守直の墓がありましたが、寛永6年、武田儀兵衛元朝が三森兵庫の墓と共に含蔵寺境内に移し、供養塔を建立しました。2本の杉の中、下方の大杉の下に高さ1m位の自然石があり、「天正十四年正月二十三日、義清院功雲宗居士三森兵庫墓」と銘ある三森兵庫の墓が残っています。



○湧水トンネル公園

ここは以前、延岡と熊本を結ぶ九州中部横断鉄道のトンネルとなる予定でしたが、工事中に大量の水が噴出したことを契機に工事は中断。現在は、白川水源に続く全長550メートルのトンネル公園として季節のイベントを開催し、トンネル最深部の湧き水は飲めるほどきれいで、ペットボトルを持参する方もちらほら。「ウォーターパール」という水と光が織り成す摩訶不思議な共演は一見の価値あります。左の写真は夏のイベント「湧水トンネル公園七夕祭り」でのメインとなる七夕飾りで、町内外問わず、学校や企業が毎年特色ある飾りを提供いただいています。

◆今回は、南阿蘇村の「わがまち自慢の世界遺産」についてご紹介します!

第16回大草原のうさぎ追いinうぶやま

悪天候のため一時は開催も危ぶまれた今年のうさぎ追いイベントでしたが、当日は県内外から大勢の方々にご来場頂き、村内の子どもたちを含む約90名で「大草原のうさぎ追い」を楽しみました。

原野の中で網隊として地元の猟友会やスタッフが息を潜めて待ち構える中、一般参加者たちで構成される勢子隊長の山室健一さん(株式会社うぶやま)の合図で、参加者たちは一斉に大声をあげて原野を棒で叩きながら駆け下りました!しかし、第1ステージはまたもや不発…。過去3年間、野うさぎとは出会えずに悔しい思いをしてきた苦い記憶がよみがえります。事務局としても、「なんとか参加者たちに野うさぎを見せたい…」と、神にも祈る思いで最後の「第2ステージ」へ。

すると、関係者みんなの熱意が届いたのか、原野の中からガサガサ、ガサガサと音が!なんと3羽の野うさぎが出現し、網に向かって突進してくるではありませんか!2羽は網をくぐり抜け、逃げられてしまいましたが、1羽は見事捕獲に成功しました。参加者たちが「うさぎが獲れたぞー!」と興奮気味に野うさぎの周りに駆け寄り、とても興味深そうに野うさぎを観察し、写真を撮ったり、体を触ったりしながら喜んでいました。

うさぎ追いが終わると、参加者たちは昼食会場であるうぶやま牧場のガラスハウスに戻り、株式会社うぶやまに準備して頂いた高菜おにぎりやだご汁などの美味しい料理を楽しみました。また、本村の特産品が当たる「お楽しみ抽選会」も大変好評で、無事にイベントは終了しました。

最後になりますが、今回のイベント開催にあたりご協力を頂きました株式会社うぶやまをはじめ、猟友会の方々、関係者の皆様方に心から御礼申し上げます。



野うさぎを見ることができ、昼食会場も終始賑やかでした!



野生のうさぎに興味津々! 大人気でした。

善意のご寄付ありがとうございました!

九州北部豪雨災害に係る見舞金として、浄土真宗本願寺派熊本教区教務所長の木下様が2月25日(月)に来庁され、本村へ見舞金を贈呈して頂きました。心温まるお心遣い、誠にありがとうございました。

なお、浄土真宗本願寺派熊本教区阿蘇組としては、善行寺住職高橋頌慈氏が組長としてご活躍されています。



木下様より総務課長へ見舞金が贈呈されました

— 心豊かに生きるために —

先月は、水俣病をめぐる人権について掲載しました。今回は、犯罪にあわれた被害者の方々の人権について掲載します。

— 犯罪被害者等の人権 —

犯罪といっても内容は様々で、私たちの身の回りにはテレビや新聞などで、毎日のように報道があるように、目をおおいたくなるような事件や事故が発生しています。

突発的に起こる事件や事故は防ぎようがないため、誰でも犯罪被害者になる可能性があります。自分にはそんなことはないと思っておられるかもしれませんが、思いがけなくあなたがそのような立場になるかもしれません。

今の日本では、産山ももちろんそうですが、被害の内容によっては、「大きな声で泣きたくても泣けず、じっと一人で我慢する」、「被害にあったことに対して、自分を責め続ける」ということが起こってしまいます。多くの犯罪被害者や遺族が誰からも援助の手が差し伸べられることがなく、一人で悩み、苦しんでいます。

犯罪被害者や遺族は、命を奪われる、けがをする、物を盗まれるといったことだけではなく、「★事件にあったことによる精神的なショックや体の不調、★警察の捜査や裁判による精神的、時間的負担、★周りの人々の無責任なうわさ話」など、被害の後にも様々な問題が起きています。熊本県では、そのような被害者を社会全体で支えようと、公益社団法人の「熊本被害者支援センター」が設立されています。

このセンターでは、専門的な訓練を受けた支援員が、各種相談への対応や病院、法廷への付き添い、同じような被害にあわれた人や遺族への交流場所の提供など、様々な支援をしています。連絡先をご紹介しますので、ご自分やお知り合いにこのような被害で困っている方がおられた時は、利用されてはいかがでしょうか。

熊本被害者支援センター 熊本市中央区水前寺6丁目9-5 電話：096-386-1033

野焼き到来

産山村消防団長 酒井 幸徳

日頃から、村消防団に対しましてご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

今年も、春の全国火災予防運動が3月1日から7日まで行なわれます。この時期は、火を使うことが多くなりますので、次の事に注意して、火入れを行なって下さい。

- 一人では絶対に火を付けない。
- 風の強い日は、日を付けない。
- 火を付けたときは、斜面の上から。
- 規模に応じて水を用意する。
- 火を付けると、上昇気流で風が起きるので、火を過信しない。

以上のことに注意して頂き、本村から一件の火災も出さないよう、予防消防にご協力をお願い致します。

阿蘇世界文化遺産ミニシンポジウムが開催されました

阿蘇地域を北部・中部・南部の3地域に分け、世界文化遺産を目指す上での各地域における景観保全や地域づくり等の取組みの必要性について理解してもらうとともに、阿蘇の世界文化遺産登録に向けた域内の気運醸成を図ることを目的に、阿蘇中部（阿蘇市・産山村）の地域住民を対象とした「阿蘇世界文化遺産ミニシンポジウム」が2月10日（日）に、阿蘇プラザホテル（阿蘇市内牧）で開催されました。



阿蘇の世界文化遺産への登録が期待されています！

講師による基調講演のほか、地元の観光業や農林畜産業に携わる方々によるパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場での考えや取組みについてお話を頂きました。本村からは、うぶやまさわかビーフの生産・販売や無農薬無化学肥料栽培米を生産されている渡辺裕文さん（下平川）にパネリストとして参加を頂き、ご自身の経験に基づいた貴重なお話を聞かせて頂きました。ありがとうございました。

分駐所だより 産山波野分駐所

野焼きについて

今年も野焼きのシーズンとなりました。通りがかりや観光客の人が、野焼きの炎や煙を見て火事だと思い消防署に通報されることがよくあります。（野焼き・防火線焼き・田畑の畦の焼却）の際には「日時、場所、代表者氏名、電話番号（携帯番号）」の連絡、並びに終了時の連絡を消防署までお願いします。また、風の強い日や空気が乾燥している日などは、極力中止することを検討し、火をつけた後も最後まで消えるのを確認して帰りましょう。



お問合せ先 産山波野分駐所 24・2766

【救急講習・受講してみませんか？】

先月、田尻地区の活動の一環として防災指導へ伺いました。区民の方からの提案で、救急講習、消火訓練を行いました。このような防災訓練や、救急講習は申し込みをして頂くだけで受講することができます。公民館活動や婦人会、職場の仲間などの少人数でも構いませんので、お気軽にお問合せ下さい。

火災、救急時の通報について

火災を発見した際や救急車が必要な際は、固定電話・携帯電話ともに119番、または産山波野分駐所まで通報をお願いします。119番通報をすると、阿蘇市坊中にある消防本部に繋がります。同時に産山波野分駐所に連絡が入るようになっていきます。また、火災の際は、消防本部から警察や役場等への連絡も行われます。



昔がたりと季節の行事を楽しむ

「おとなのためのお話会」

● 教育委員会より ●

2月22日（金）の夜に、ファームビレッジの囲炉裏の間で「熊本子どもの本の研究会（横田幸代代表）」の語り手による民話や童話を楽しむためのお話会を開催し、読み聞かせボランティアや日頃から読書に親しんでいる村民の方々が集いました。

お話会では、人から人へ長い間語り継がれてきた昔話の語りや手作り人形を使ったお話が演じられました。

参加者は、昔懐かしい囲炉裏を囲んで炭の燃える音だけがする中、穏やかな声による昔話りに聞き入っていました。また、わらべ歌や手遊びなどでは、甘酒を飲みながらみんな童心に返って楽しみました。参加者からは「語られる言葉だけで情景が目につかんできました」「自分も語りをしてみたいくなりました」「次回も参加したい」といった感想が聞かれました。



手作り人形のお話に思わず「かわいい！」の声



囲炉裏を囲み、手遊びに心も和らぎました



わらべ歌に合わせた手遊びに真剣そのもの！
老化防止になるかな？

平成25年度 産山ヒゴタイ・スポーツクラブの
会員を募集します！



活動内容等に関しては、折込みチラシをご覧ください。

皆さん、スポーツを楽しんでいますか？

産山ヒゴタイ・スポーツクラブでは平成25年度会員を募集しております。種目は複数選択することができますので、様々な種目に参加して仲間と一緒に体を動かしてみませんか？

【入会方法】

申込書に必要事項を記入の上、年会費（大人3,000円・子ども1,500円：保険料含む）を添えて産山ヒゴタイ・スポーツクラブ事務局へ3月25日までにお申込み下さい。なお、4月以降も随時受け付けます。

詳細は、クラブ事務局（産山村教育委員会内、TEL：25-2214）にお気軽にお問い合わせ下さい。



料理とは、食材の命に
自分の命を和えること

『泣きみそ校長と弁当の日』
（竹下一夫著）より

3月の図書室開放日は

第2・4土曜日です

9日（土）・23日（土）

3月に入り、春の芽吹き季節になりました。産山で暮らしていると「食」にもはっきりした季節があることを実感します。そして「山菜」をはじめとする自然からの恵みを愛し食すという食文化が産山には残っていて、それはとても豊かで贅沢なことだと感じています。2月18日には小中学校で「チャレンジお弁当」の取り組みがありました。小学5年生から中学3年生までが、自分で作った（用意した）お弁当を持ってきました。朝5時から作ったという子もいました。きちんと栄養のバランスや彩りも考えた素敵なお弁当ばかりでビックリしました。そしてそれ以上に素敵だったのが、子どもたちの誇らしげな笑顔でした。「料理すること」「食べること」の大切さを、改めて感じる事ができました。

自分のために、家族のために、食べてくれる人のために、命の恵みに感謝しながら楽しく料理して、春をおいしくいただきます！！



文芸ののび

短歌

御湯船の
温泉の里に
降る雨は
湯煙濡らす
春の村雨
（村雨…にわか雨）
御湯船
関野 侃作



うぐいすが
梅の小枝で
春を呼ぶ
静かな朝に
雌を呼ぶこえ
平川 山部スミエ

俳句

初詣で
玉砂利の音
心地よく
今年も元氣
お願いします
中山鹿 岩下ミツエ

水仙の
芽の五センチや
春立ちて
山鹿 佐藤ヨシ子



爪痕残す
耕作田
復旧の目処
心焦れど
平川 酒井 耐子

節分や
銀の蕾の猫柳

ほっと館利用者作

産山村スポーツ推進委員協議会 No.1

スポーツ推進委員だより

スポーツ推進委員紹介

日頃よりスポーツ推進委員活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。私たちスポーツ推進委員は誰でも気軽にスポーツを楽しめるように各種スポーツ行事の準備や運営等の協力、産山ヒゴタイスポーツクラブと協力しスポーツ活動の普及を行っております。

村民の皆様が日々の生活を健康で過ごせるように年齢や体力にあった各種スポーツ活動を通して健康づくりのお手伝いをいたします。

今後とも、スポーツ推進委員活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。スポーツ活動に関してお尋ねしたいことがございましたらお気軽にお声掛けください。

- 会長 井 国憲（田尻）
 委員 井 誠子（山鹿）・高橋 弥生（山鹿）・池部 奨（南部）・酒井 健太（田尻）
 井 星二（産山）・西田 直人（南部）・高橋 朗（山鹿）

☆ニュースポーツ紹介☆ ～その1～

【ペタンク】

ペタンクは、南フランスで生まれ、全仏でおよそ600万人もの愛好家がいると言われるポピュラーなスポーツです。日本でも、手軽さと奥の深さで年々競技人口は増えてきています。

ルールは、長野冬季オリンピックで初めて正式種目になったカーリングと似ている部分もあるのですが、大まかに言えば、木製の目標（ピュット）へ自分のチームのボール（鉄またはステンレス製）をいかに相手より近づけるかで勝負が決まります。ただ、自分や相手のボールに当てて有利に展開させることもできるし、目標自体を自分のチームのボールが密集する地点へとはじき飛ばすこともできます。とにかく、見た目よりかなり面白いというのが実感です。

出前講座も行いたいと思いますのでぜひ、みなさんもペタンクに挑戦してみてください。



編集後記

はじめてスポーツ推進委員だよりを発行しましたがいかがだったでしょうか。今後も皆様方のご意見を参考にしながらスポーツの推進活動・情報発信をしていきたいと思っております。より多くの方が「スポーツ推進委員だより」を読んで身体を動かしてみようと思って頂けたら幸いです。

健康山話



産山村診療所
林田 来介 先生

この時期、阿蘇の草原を眺めていると、映画「大脱走」でバイクに乗って逃げ回るステイプーマッククインの姿を思い出します。最初に見たのは高校生くらいだったでしょうか、その光景が強烈に目に焼き付いています。

私が一番好きな映画は、何と言っても「七人の侍」です。居合の達人の決闘シーンは「これぞ本物」と納得させられるものがあります。武士としての死に場所を探す侍達を必死の村人の姿勢が動かしません。しかし、当初村人は七人の侍達を遠巻きにし、都合よく盗賊退治を押し付け、自分たちは隠れてしまっています。すったもんだの末、自分たちの村は自分たちで守る…という自覚に目覚め、みんなが立ち上がることで、村が守られる…。

これって医療も同じだなあと思っています。あちこちの病院を回って、

「治して、治して」とただ医者に頼るだけの人はなかなか治りません。医者を信頼し、医者の方の言いつけを自分のこととしてしっかりと理解し、自分で良くなるうとする人は快復に向かいます。病者は患者さん自身が治すもの、医者は手助けしているに過ぎません。もう一つ印象に残っている映画があります「ラストサムライ」です。厳しい山中で凜として生きる侍の生き方は私の理想かもしれない。そういう話を妻にしようとしたら、「もっと気楽でいいんじゃない」と一言で片づけられてしまいました。



こんにちは！アンドリューです

翻訳：アンドリュー



こんにちは！2月17日に熊本城マラソンに出場し、完走しました。とてもきつかったけれど、次の日から中国に旅行に行きました。今、私の友達が北京に住んでいて、彼が中国に住んでいる間に会いに行きたいなと思っていました。行く前は、中国はどんなところかわからなかったけれど、一週間過ごしてみるととても楽しかったです！第一印象では空気や町並みはあまりきれいに感じませんでしたが、中華料理は思ったより美味しかったです。安くて、とても気に入りました。一番好きだったのは鍋料理で、北京ダックも美味しかったです。美術にも興味があり、北京の一番有名なアートエリア『798 Art District』と言うアートギャラリーがたくさんある所に行きました。798のビルは以前軍事工場として使われていたところで、現在はアートスペースになっています。798は、今世界でも注目されているスポットです。とてもいい思い出になりました。中国は環境や言論弾圧などの問題もありますが、実際に行ってみたら学ぶことも多く、とてもいい経験になりました。



●役場電話番号
 総務課 25-2211
 企画振興課 25-2211
 住民課 25-2212
 経済建設課 25-2213
 教育委員会 25-2214

3月 情報 3月

くらしの

～平成25年度 産山村人材育成事業のご紹介～

社会情勢の変化に対応し、地域の発展のために貢献する人材を育成するため、以下の目的をもって実施される事業に対して、その経費の一部を助成する事業を行なっています。助成を希望される場合は、申請期限までにご提出下さい。

●助成対象者

- ①産山村に住所を有するもので、引き続き在住することが認められるもの。
- ②産山村内に勤務するもので、村長が適当と認めたもの。

●対象事業

- ①後継者となるための技術習得を目的とした養成講座・研修等への参加。
- ②地域づくりのための調査及び研究等。
- ③体験学習や地域活動の実践、相互交流、地域産業の振興等の目的のための先進地（海外を含む）の視察研修等

- ④その他村長が特に必要と認める事業
- 事業を実施する期間
平成25年4月1日～平成26年3月31日
- 対象経費
①受講料又は参加費
②宿泊費
③交通費
④調査・研究のための経費
これらの経費のうち自己負担にかかるもの
- 申請期限
平成25年3月29日（金）まで
- 申込み先及び連絡先
産山村役場企画振興課（担当：井山 健一郎）
TEL：25-2211
※お問合せや事業の詳細については、上記担当までお気軽にお電話下さい。

光インターネット体験会を開催します！ 『体験会』へ来てください！

☆見て！触って！実感☆ 光の体験会のお知らせ

■光インターネット相談・体験会（どなたでも体験可能）

阿蘇インターネット光インターネットに変えたいけど、メールアドレスが変わるのが嫌！
 阿蘇インターネット光インターネットってどうしたら繋がるの？
 などとお悩みの方、どなたでも是非ご参加ください。
 スタッフが丁寧にご説明いたします。
 この機会にぜひ、高速インターネットを存分にお楽しみください。
 日 時／3月23日（土曜日）10：00～15：00
 場 所／農村環境改善センター（内牧）

参加費
無料

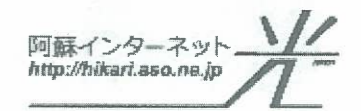
■光インターネット会員様向け無料講座（要予約）

現在、阿蘇インターネット光をご利用の会員様向けの無料講座も行ないますのでふるってご参加ください。
 日 時／3月23日（土曜日）15：30～16：30
 定 員／先着10名様・申込み必要
 場 所／農村環境改善センター（内牧）

参加費
無料

お問い合わせは
 阿蘇テレワークセンターまで

☎23-6009 ※お知らせ端末からでも
 繋がります。
 電子メールでのお問い合わせ：info@aso.ne.jp



ひとり親家庭の子どもたちへの学習支援について

熊本県では、ひとり親家庭の子どもたちの学習を応援する「ひとり親家庭応援の塾」と「地域の学習教室」を展開しています。

「ひとり親家庭応援の塾」では、学習塾での受講料割引の他、教材提供などの支援が受けられます。

「地域の学習教室」は、地域に学びの場を確保し、同時に学習支援者を募り、負担を抑えた安心の学習環境を子どもたちに提供する事業です。いずれも詳しくは「ひとり親家庭等応援サイト」をご覧ください。

お問い合わせ先
 ☎096・324・2136
 （受付時間：平日9時～17時）
 社会福祉法人熊本県母子寡婦福祉連合会

2013年春の農作業安全確認運動の推進について

3月1日から5月31日までの3か月間、全国で春の農作

業安全確認運動が実施されます。平成23年では、県内で9人の尊い命が農作業事故で失われています。そのうち6件が農業機械関連の事故となっており、トラクターの転落・転倒によるものが多くなっています。中には、農作業の移動中に公道で交通死亡事故にあわれた方もおられます。特に、高齢者による事故が多く、日頃からの注意が必要です。農繁期を迎えるこの時期は、秋の収穫期とともに、1年のうちで最も農作業の事故が発生しやすい傾向があります。農業機械による事故は、重大事故につながる場合が多いので、特に次の点に気を付けて、農作業安全に努めましょう。

- ◎正しい機械の取り扱い、操作方法を身につける。
- ◎作業に適した作業服や防護具を着用する。
- ◎足場が滑る、路肩が見えにくいなど条件の悪い場合は、無理に運転作業をしない。
- ◎運転操作は、余裕をもって確実にこなす。
- ◎機械の点検・整備は、必ずエンジンを止めてから行う。

中小企業金融円滑化法の期限到来後の検査・監督の方針について

中小企業円滑化法（以下「円滑化法」）が本年（25年）3月末に期限を迎えるにあたり、円滑化法の期限到来後における金融庁の検査・監督の方針（骨子）を以下のとおりお知らせします。

- ◎機械の日常点検・定期点検に努める。
 - ◎一人で作業をする場合は、どこで作業をしているか家族に知らせておく。
 - ◎過労運転・酒気帯び運転はやめる。
- 【金融機関の役割】
 ・金融機関が、貸付条件の変更や円滑な資金供給に努めるべきというところは、円滑化法の期限到来後においても何ら変わりません。
- 【検査・監督の対応】
 ・金融検査、監督の目線やスタンスは、円滑化法の期限到来後も、これまでと何ら変わ

《JICA青年海外協力隊・シニア海外ボランティア募集》

募集期間：4月1日（月）～5月13日（月）

この募集期間に合わせ、事業概要ならびに「体験談&説明会」が各県で開催されます。

〈青年海外協力隊／熊本〉 応募資格：満20歳～満39歳 日本国籍の方

日時 4月 6日（土）午後2時～
 4月14日（日）午後2時～

〈シニア海外ボランティア〉 応募資格：満40歳～満69歳 日本国籍の方

日時 4月14日（日）午後2時～

※応募時に事前に語学スコアの提出が必要ですのでご注意ください。

問合せ：【JICA九州】ボランティア班（又はJICAデスク熊本）

TEL 096-359-2130 E-mail:jicaicp-jpcvqc@jica.go.jp

詳しくはJICAホームページへ：http://www.jica.go.jp

りません。
 ・円滑化法の期限到来後も不良債権の定義は変わりません。（貸付条件の変更等を行なっても不良債権とならないための要件は恒久措置です。）
 【借り手の課題解決】
 ・借り手が抱える経営課題の解決には相応の時間がかかるものであり、本年3月末までに何らかの最終的な解決を求めるといえるものではありません。
 ・金融機関に対して、借り手の経営課題に応じた最適な解決策を、借り手の立場に立って提案し、十分な時間をかけて実行支援するよう促します。
 ※詳細につきましては、金融庁ホームページにてご確認ください。

りません。
 ・金融機関に対して、借り手の経営課題に応じた最適な解決策を、借り手の立場に立って提案し、十分な時間をかけて実行支援するよう促します。
 ※詳細につきましては、金融庁ホームページにてご確認ください。

平成25年度県民介護講座のご案内

熊本県介護実習・普及センターでは、一般県民の方を対象に年間を通して実施している介護講座の平成25年度受講生を募集します。

講座内容や申込書は、ホームページに掲載しています。

◎募集期間：3月1日～3月31日

ホームページ

「熊本県介護実習・普及センター」

<http://www.sawayaka.or.jp>

■問い合わせ先

熊本県介護実習・普及センター

TEL 096-354-3091

熊本いのちの電話の養成講座募集案内

熊本いのちの電話は、自殺防止を目的に365日24時間、悩める人からの電話相談を受けているボランティア団体です。毎年養成講座を開催し、相談員を育成しております。

1. 対象 将来熊本いのちの電話相談員を目指す方(30名)

2. 養成講座の期間 1年間(前期、後期) 毎週火曜日18時半から2時間

3. 養成講座の場所 熊本YMCA(熊本市新町)

4. 受講料金 前期25,000円、後期25,000円

●お問い合わせ先

社会福祉法人 熊本いのちの電話 事務局

事務局長 赤星 敦

TEL096-354-4343 FAX096-354-4665

第11回 森林自然観察・体験教室 (津奈木町舞鶴城公園)

1 日時 3月17日(日) 10時～14時 受付9時30分から(小雨決行)

2 集合場所 つなぎ文化センター(葦北郡津奈木町岩城1588-2)

3 内容 舞鶴城の歴史探訪と自然観察

4 募集定員 40名

5 参加費 500円(小学生以下300円)

6 申込方法 氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号を記載してハガキ、FAX、電子メールで2月18日からお申し込み下さい。電話での受付はしていません。

■問い合わせ先/熊本県森林整備課 TEL096-333-2441

■申込先/〒862-8570(住所記載不要)熊本県森林整備課みどり推進班

FAX 096-383-7704

電子メールアドレス shinrinseibi@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県子牛市場品種別セリ成績表(平成25年2月)

熊本県畜産農協阿蘇支所統計による

○市場セリ日;平成25年2月6日(水)～8日(金)

褐毛		性別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価	平均日齢
県市場平均	去勢		96	425,152	4,152	298	1,425	271
	メス		80	379,129	794	285	1,329	280
産山牛平均	去勢		4	360,936	-	272	1,327	316
	メス		5	371,070	14,070	283	1,311	292

黒毛		性別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価	平均日齢
県市場平均	去勢		366	494,866	▲10,983	290	1,707	278
	メス		334	418,978	▲12,122	268	1,562	287
産山牛平均	去勢		15	499,450	▲1,166	301	1,659	285
	メス		11	460,855	42,471	269	1,713	295

平成25年度国家公務員採用試験(院卒者試験、大卒程度試験)

○国家公務員採用総合職試験(院卒者試験、大卒程度試験)

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月8日(月)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】4月28日(日)

○国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

【受付期間】◎インターネット 4月9日(火)～4月18日(木)

※○郵送又は持参 4月9日(火)、4月10日(水)

【第1次試験日】6月16日(日)

○皇宮護衛官採用試験(大卒程度試験)

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月11日(木)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】6月9日(日)

○法務省専門職員(人間科学)採用試験

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月11日(木)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】6月9日(日)

○財務専門官採用試験

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月11日(木)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】6月9日(日)

○国税専門官採用試験

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月11日(木)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】6月9日(日)

○食品衛生監視員採用試験

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月11日(木)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】6月9日(日)

○労働基準監督官採用試験

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月11日(木)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】6月9日(日)

○航空管制官採用試験

【受付期間】◎インターネット 4月1日(月)～4月11日(木)

※○郵送又は持参 4月1日(月)、4月2日(火)

【第1次試験日】6月9日(日)

◎受験資格は試験ごとに異なりますので、インターネットで確認するか、人事院九州事務局までお問い合わせ下さい。

◎受験申込み方法について

受験申込みを希望される方は、インターネットでのお申込みをお願いしています。

※インターネットによる申込みができない環境にある場合は、以下の期間に人事院九州事務局までお問い合わせ下さい。

・国家公務員採用総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験) 平成25年3月11日(月)から3月29日(金)まで

・国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) 平成25年3月21日(木)から4月8日(月)まで

いずれも土日祝を除く 9:30～17:00

■問合せ先/人事院九州事務局第二課試験係 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1

TEL 092-431-7733 FAX092-475-0565

HP「国家公務員試験採用情報ナビ」<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

赤ちゃん
こんにちは



- こうが
・高橋 虎雅ちゃん
康太さん 亜樹さん (大利外)
- まさひろ
・嶋井 将大ちゃん
利修さん 眞代さん (田尻外)

お悔やみ申し上げます

- ・渡邊 茂己 様 2月1日没
(中田尻)
- ・川瀬 シズ子 様 2月12日没
(飛瀬)
- ・井 ヒデヨ 様 2月16日没
(乙宮)

産山村人口の動き (2月28日現在)

男	856人
女	799人
合計	1,655人
世帯数	599戸
男 出生	2人
男 死亡	1人
男 転入	1名
男 転出	1名
女 出生	0人
女 死亡	2名
女 転入	1名
女 転出	3名

学校給食 探検



学校給食週間のときに、食べられることへの感謝の気持ちを伝えるために「おにぎり、鮭、たくあん」という給食を出しました。これは約120年前に初めて学校で昼ごはんが出された時の献立です。昔はこのような食事を子どもたちはとても喜んで食べていました。今はどうでしょう？感謝の気持ちが薄れているのでは・・・？「藤山先生チャレンジャーね」と職員から言われ再確認！！インパクトを与え子どもたちの心に訴えることも大切だということをこれからもチャレンジ精神を忘れず頑張ります！



産山給食センター
栄養教諭 藤山あゆみ



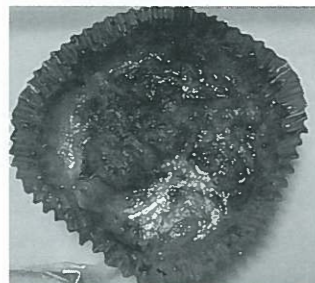
レシピ No.41 ☆ラザニア (15cm位の耐熱皿1台の簡単バージョン)

材料	分量	作り方
ミートソース ・トマトソース ・水	2袋 (約400g) 150g	① ミートソースは水で薄める。 ② ホワイトソースの材料を全て鍋にいれてしっかりと混ぜながら加熱して、トロツとなったら火を止める。 ③ 耐熱皿にバターをうすくぬる。(とれやすいように) ④ ③の器に①、②ラザニアパスタの順に重ねる。この作業を2回繰り返して、ラザニアパスタの上にミートソースをのせて、ピザ用チーズを全体にのせて、オーブン180℃で30～40分焼く。
ホワイトソース ・米粉 ・牛乳 ・水 ・コンソメ ・塩こしょう	大さじ3 300g 200g 小さじ1 少々	
ラザニアパスタ (そのまま使えるもの、 下茹で不要のもの) ピザ用チーズ バター	100g 適量 適量	



レポーター 9年生
藤近 太士さん

ラザニアはチーズがとてもカリカリとしていておいしい料理です。見栄えもよく食べたくになります。



ピザ用チーズ	お皿にこのような順番に重ねていく。ラザニアパスタが水分を吸うので、ミートソースもホワイトソースもゆるめに作るのがポイントです。
ミートソース	
ラザニア	
ホワイトソース	
ミートソース	
ラザニア	
ホワイトソース	
ミートソース	

無料登記相談所開設

熊本地方法務局による無料の登記相談所が開設されます。

当日は、土地・建物等の売買・贈与・相続等の登記に関する相談について熊本法務局職員が対応しますので、お気軽にご相談下さい。

日時 平成25年3月21日 (第3木曜日)

10:30から15:00まで

(ただし、12:00から13:00までは除きます。)

場所 阿蘇市内牧支所会議室

問合先 熊本地方法務局総務課庶務係

電話番号 096-364-2145 (代表)

子育て支援だより
“たんぽぽ”



子育て支援センター
(うぶやま保育園内)
TEL25-2014

【3月のスケジュール表】

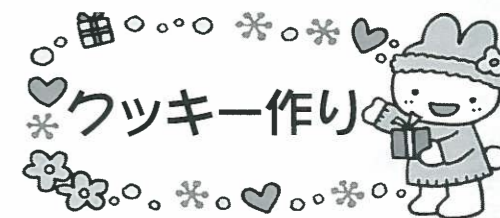
○印は子育て支援センターの開所日です。
午前8時30分より開所しています。

月	火	水	木	金	土
				1 ひな祭り会 ○	2
4 ○	5 ○	6 親子交通 安全教室 ○	7 ○	8 ○	9
11 ○	← 12 入園・育児相談 → ○	13 ○	14 ○	15 ○	16
18 ○	19 ○	20 春分の日 ○	21 ○	22 ○	23
25 ○	26 ○	27 ○	28 ○	29 ○	30
4/1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○	6

早いもので、子育て支援センターの一年間が終わろうとしています。今春、保育園に入園するお友達はあと少しでお別れですね。保育園という新しい世界で元気に大きく成長されることを願って、見守っていきたくと思います。

一年間、色々な方に支えられ楽しく活動することができました。ご協力いただき本当にありがとうございました。

また、来年度も皆様のご意見を頂きながら楽しい子育て支援センター「たんぽぽ」を目指していきたいと思っています。よろしくをお願いいたします。



むずかしい
なあ...

おいしそう
でしょう？



☆親子交通安全教室☆

日時 3月6日(水) 10:00~

場所 うぶやま保育園ホール

阿蘇警察署・産山駐在所より来園され、子ども・保護者向けの交通安全教室が開催されます。正しい交通ルールを楽しく学べる機会です。たくさんのご参加をお待ちしています！





藤田施設長の事例発表の様子

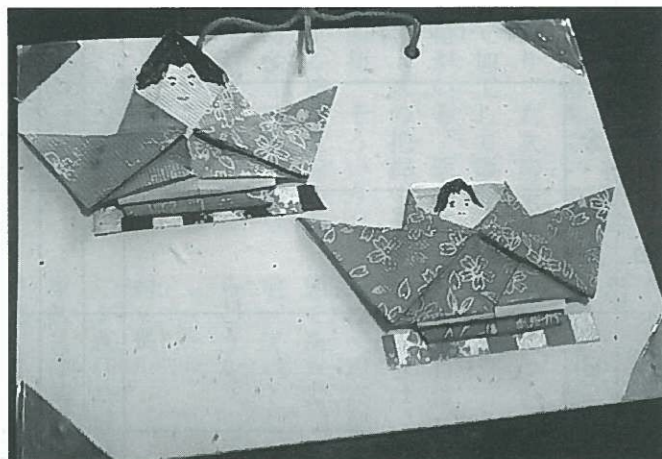
産山村社会福祉協議会では、地域の誰もが気軽に集い、支え合う地域の拠点「地域の縁がわづくり」（居場所づくり）について、今後も積極的に取り組んでいく予定です。

2月8日（金）阿蘇地域振興局大会議室にて、地域の縁がわ情報交換会が開催されました。当日は阿蘇郡市の社会福祉人と行政が30名ほど出席し、意見交換を行いました。また地域の縁がわ取り組み団体の事例発表では、産山村の「なでしこの里」施設長 藤田隆子氏（社会福祉法人やまなみ会）が「地域とともに高めあう縁がわ活動」と題して発表され、その中では色々な地域との交流や、産山村の子どもヘルパー活動の取組などの発表もありました。

平成24年度 地域の縁がわ情報交換会

～地域づくりサロン活動～

2月のふれあいサロン活動は、ひな人形づくりを行いました。お手本に習って折り紙で制作しましたが、出来上りはみなそれぞれ個性があり、とても可愛らしい作品に仕上がりました。まだ寒い日が続いていますが、地域づくりサロンでは、一足早い春の訪れを感じることができました。



可愛いひな人形が完成しました



『和気あいあいと制作が進みます』

産山村身体障害者 福祉協会視察研修会

2月15日（金）、産山村身体障害者福祉協会では、毎年役員の意識向上や先進地の取組みを活かせるよう研修を行っており、今回は、合志市にある多機能型事業所サンシャインワークスを視察しました。

サンシャインワークスでは、艶島課長さんより施設概要等の説明をいただき、施設内の各事業の見学をしました。



平成24年度 第13回 産山村子どもヘルパー活動報告会・感謝状授与式

2月18日（月）産山小学校メディアセンターにて、産山村子どもヘルパー活動の報告会と、活動に伴う感謝状の授与式が行われました。

報告会では、小学5年生全員でスライドを活用し、活動の様子や活動を踏まえて感じたこと、活動のまとめや意識調査のアンケート結果などを詳しく報告しました。

また、感想発表では中学1年生（7年生）を代表して佐藤太紀さんと佐藤瑞穂さんが発表され、「リーダーとしてやるべきことが体験してわかった」、「お年寄りとは最初はうまく話せなかったけど、何回か訪問するうちに話せるようになった」など、活動の中で経験し感じた思いを述べられました。

感謝状授与式では、村社会福祉協議会より、今年度で子どもヘルパー活動が終了する中学1年生（7年生）全員に感謝状が授与されました。

今年度も関係者の皆様方のご支援とご協力を頂き「産山村子どもヘルパー事業」を無事終了することができました。誠にありがとうございました。



中学1年生の感想発表の様子



5年生の活動報告の様子



最後にみんなで記念写真を取りました



感謝状授与の様子

社協に寄せられた善意の寄付【3月分】

毎月、「福祉のためにぜひ役立ててください。」とたくさんの善意をお寄せ頂いております。その主旨にそうべく「地域福祉発展」のために、有効に活用させていただきます。

【香典返し】

- ・西林 民子様より（小迫） 故）亮様分として
- ・井 信吾様より（乙宮） 故）ヒデヨ様分として

【お見舞い返し】

- ・筑紫 博幸様より（杖木原） ご本人様分として
- ・井 二重様より（土山鹿東） ご本人様分として
- ・高浪 健信様より（大和北向） 晃一様分として



～心から感謝申し上げます。ありがとうございました。～



社協だより

平成25年
第225号

発行者
産山村
社会福祉協議会
☎23-9300

ふれあいで、育てよう
ふくしの心

うぶやま 議会だより

UBUYAMA
第67号 平成24年12月定例会

発行 産山村議会 阿蘇郡産山村山鹿488-3
TEL 0967-25-2211 FAX 0967-25-2864
編集 産山村議会 広報特別委員会

村長
いわゆる農産物の付加価値は、私も選挙公約で六次産業

井文紀議員
農産物の価値を付加することによって、農家所得を向上する方法はないかといったことについてたずねる。
農業センサスによる産山村の農家戸数は、2005年から2010年の間に14戸減っており、今後も減り続くと思われる。その原因は、農家所得が低く後継者が残らないのが一番の原因だと思う。所得の高い作物の推進として、トマト、ほうれん草などの施設園芸の普及、集落営農の推進、営農指導員設置などいろいろな対策が考えられる。虫が食べたり形が悪ければ商品にならないため、また価格の変動が激しい手を加えることにより価値が付け加えられるような方策を考

一般質問
農産物の付加価値化について

村長
お手伝いしたい。

経済建設課長
産物の付加価値化と申ししており、農産物の付加価値をつけて販売する、そういった方策を当然やっていると考える。六次産業化については、農水省も推進しており、雇用と所得を考慮し付加価値を付け、一次産品から加工して販売、そういうことをやっていかなければ農家所得は上がらない。農家がどれだけ六次産業まで踏み込んでもらえるのか、一つの鍵ではないだろうか。今後、営農指導員等々の活用を進めてまいりたい。

住宅建設について

村長
単独又は補助事業で建設した住宅、これは空き家活用住宅

西村直樹議員
村営住宅、集合住宅について3点ほどたずねる。
本村では、過疎化が進み、若者の流出が多く、必然的に高齢化率が急速に上昇しているため、独居世代なども増えているのが現状だ。人口増加の近道としては、定住促進だと考える。現在、新規就農や空き家対策で村外からの転入者は増えてつがあるが、村内の住民については、核家族化の懸念もあるが、まずは村内に住んでもらうというのが第一だ。

住宅建設について

村長
1点目の質問については、

経済建設課長
現在、村営住宅が55戸、空き家活用住宅が4戸、合計59戸である。入居者数は165人で、1戸当たり2・8人になっている。単身世帯が16戸であり、60歳以上の単身世帯が9戸である。

● 村民カレンダー

平成25年3月～平成25年4月

月日	曜	行事予定	ゴミ収集日	診療所	歯科診療所
3/5	火	住民税納税相談(柄杓田・原片俣西・原片俣寺地区9:00~11:00/谷片俣東・谷片俣西・千部塚地区13:30~16:00) 田尻サロン(13:30~)		○	
6	水	住民税納税相談及び災害による申告相談(産山・田尻地区9:00~11:00/山鹿・大利・片俣地区13:30~16:00) 山鹿サロン(9:30~) 中山鹿サロン(13:30~)		○	
7	木			○	○
8	金	3月定例会開会(～15日) 小中学校授業参観	可燃物	○	
9	土	図書室開放日(10:00~15:00)			
10	日				
11	月	中学校卒業式(10:00~小中学校体育館) 牧野サロン(13:30~)	可燃物	○	○
12	火		資源化物	○	
13	水	乙宮サロン(13:30~)		○	
14	木	南田尻サロン(13:30~)		○	○
15	金	竹の畑サロン(10:00~) 中田尻サロン(13:30~)	可燃物	○	
16	土				
17	日				
18	月	南部サロン(13:30~)	可燃物	○	○
19	火	産山サロン(13:30~)		○	
20	水	春分の日			
21	木				
22	金	小学校卒業式(10:00~小中学校体育館)	可燃物	○	
23	土	保育園卒園式(9:00~うぶやま保育園) 図書室開放日(10:00~15:00)			
24	日				
25	月	農業委員会 小中学校修了式	可燃物	○	○
26	火	地域づくりサロン活動スタッフ会議(13:30~集落センター)	資源化物	○	
27	水				
28	木	小中学校退任式			○
29	金		可燃物	○	
30	土				
31	日				
4/1	月		可燃物	○	○
2	火				
3	水				
4	木		不燃物	○	○
5	金		可燃物	○	

◎上記の行事はあくまでも予定ですので、詳細については役場(担当課)までお尋ねください。

ふるさと住宅については、UI-Jターン専用で、補助事業で建てた38戸については、収入制限はなく同居親族条件がついている。公営住宅法に基づいた入居基準や所得制限もあり、物価上昇等により変化することもある。

第三セクター支配人募集及び今後の計画について

西村 直樹議員

第三セクターの支配人募集については、11月の広報うぶやまで支配人募集があったが、進捗状況をまず伺いたい。

村長

株式会社の方の取締役会に諮り、現在6名の方が応募している。

西村 直樹議員

2点目は、第三セクターの経営について、村長はどのように考えるか。

村長

村長の立場から、経営パランスに考慮し必要なところは

前回減災への取り組みというところで、危険地域からの住宅移転の質問だったが、今回は全伐山林対策を尋ねる。全伐による崩壊防止のため、そして特に道路際の針葉樹林の広葉樹への植え替えといった補助事業の積極的推進が考えられないだろうか。

経済建設課長

全伐・間伐とも伐採届けを出してもらっているが、全伐届けの中には自然林での復旧というのが結構多い。災害対策としては、間伐の推進・河川沿いの砂防スリットダムの建設かと思う。

村長

道路沿線の広葉樹林化の制度は、道路凍結防止のためにあり要綱を作っている。ただ、今回のような深層地滑りでは飛んでしまう。減災ということでは、早期の避難が大事である。土砂災害防止法に基づき、県のほうで産山区の危険地域の指定の説明も行われた。将来的には、レッドゾーン地域指定の中で家屋移転の補助

7月豪雨災害の復旧について

志賀 英昭議員

連日遅くまで頑張ってもらい、今週の12次査定ではほぼ査定作業は終了するということが、件数・被害額等の被害状況を報告いただき、今後の工事発注等の復旧復興計画はどうなっているか尋ねる。

村長

公共土木関係で67件、3億4,700万円。農地等災害関係で198件、3億4,500万円。計7億円程度であるが、これには県管理の河川、県道関係は含まれていない。また、教育委員会の被災、観光、林務災害も入っていない。

経済建設課長

今回の災害は、今後3年で復旧していかなくてはならない。通行に支障のある公共土木11箇所については、既に発注してあり年内完成を目指している。作付けに関係のない公共土木は、繰越明許で4月以降にかけて工期を取りながら随時発注していきたい。農

業災害だが、畦畔の壊れたところは仮畦で作付けできるが、埋没や土流出から早急にやりたい。ただ、片俣のように河川工事との絡みもあるところは、県と調整しながら発注していきたい。水路については、仮設パイプ等が入って作り付けの通水に支障がないところより完全決壊や埋没点を優先的に行いたい。災害申請のあった工事には、発注予定を入れて採択通知を出し、申請者の理解を得ながら進めていきたい。

村長

40万円に満たない小規模災害について対応して欲しいという要望が私のもとには挙がってくる。小災で把握している件数はどれくらいか及び今後どのように取り組むのか尋ねる。

経済建設課長

「40万円を超えない分については自力復旧しかない」という形でお願ひしており、小災件数は把握していない。申請者には、工区の合併や機械使用料の対応で行っている。

志賀 英昭議員

40万円未満だからと最初から切り捨てられているという不満の声が大きい。中山間地事業で処理といっても協定によって規模等の違いもあり、被災者で加入していない場合もある。平成2年より高齢化も進んでいる。耕作の放棄に繋がらないような政策をお願いしたい。

事業なりを検討していきたいと思う。

志賀 英昭議員

役場職員41名中10名が村外から通勤ということだが、危機管理上職員にはなるべく村内に住んでいて欲しい。空き家事業対策や職員用住宅の建設も含め、危機管理上のかけつけ態勢をどうされるのか。

村長

7月12日の職員の危機管理の対応を述べる。災害待機2名・宿直1名の3名で待機態勢。5時に課長召集、6時に全職員召集。駆けつけるのに時間のかかった職員もいる。一つの反省点として、今後全職員の配置を検討していきたい。先行待機といった手法を採りながら、消防との連携で詰めて、今後の防災計画を防災会議の中で示したい。

志賀 英昭議員

台風や集中豪雨といった災害はある程度予測でき、泊り込み待機等可能だ。南海トラフ巨大地震のようにいつ起きるか分からない地震への対応

平成25年 1月 臨時会

平成25年第1回臨時会が、1月17日に行われました。
補正予算案件1件が上程され審議・可決されました。
一般会計補正予算の主な内容は次のとおりです。

◎一般会計の主な補正内容

商工費・・・1,650千円（御湯船温泉温度調査費、花見山残木処理）

災害復旧費・・・74,730千円（水田及び水路・道路災害復旧）

補正後の予算額・・・21億5千9百5拾2万5千円になりました。

次回の定例会は平成25年3月8日です。
多くの方々の傍聴をお願いします。

熊本県「冬場の県外観光客誘客支援事業」(阿蘇復興イベント)

～暖か“あその湯”と“阿蘇の美味”～in福岡市

2月9日(土)、福岡市のキャナルシティ博多において、阿蘇の観光PRイベント「暖か“あその湯”と“阿蘇の美味”」が開催されました。これは、阿蘇の「温泉」や「食」を福岡市のお客様に紹介することで、阿蘇地域への更なる誘客促進を図るとともに、阿蘇地域が復旧・復興し、元気な阿蘇に戻っていることをアピールするために熊本県主催で阿蘇管内の各市町村や観光協会の参加のもと行なわれました。

1月は、同市の博多大丸天神店で開催しましたが、キャナルシティ博多は年齢層が若く、家族連れやカップルなど、多くのお客様に私たちのテント前で足を止めて頂き、各市町村が持ち寄った「ハンド・すば(指湯)」を体感してもらいました。また、小国町にご協力頂いた「試食コーナー」では、だご汁とあか牛ハンバーグを振る舞ったところ、その美味しさに前回以上の長蛇の列ができるなど、大盛況でした。

そして、今回一番お客様の心を掴んだのは私たちの応援隊長「くまモン」でした。グッズ売上げなどの経済効果は293億円とも言われているくまモンですが、福岡市でも多くのお客様に囲まれて、写真を撮ったり、抱きつかれたり、大人気の様子でした。

今回のイベントを通して、多くのお客様と会話することができましたし、その会話の中で、阿蘇地域の知名度の高さや人気の高さを実感することができました。

今後は、この産山村に多くのお客様に来て頂くために受け皿づくりを進め、集客イベントの開催や様々な情報発信など、観光振興にも積極的に取り組んでいきます。



御湯船温泉を持ち込んで、産山村の観光PRを行ないました。



行列ができた試食コーナーの様子。スタッフも大忙しでした。



大人気のくまモン! あっという間にお客様に取り囲まれました。